

職業新聞

発行所

西浦支援学校

高等部

3月11日

第4号

高3 職業では何をしているの？

時間と愛情がこもっています。

木工製品。

木工の授業では、木材を加工して製品を作っています。作りたい物のデザインが決まれば、木材に下書きをして切り取ります。電動ノコギリや糸ノコギリ等の機械を駆使して切り取っていきます。あとはひたすらヤスリ掛けです。表面がなめらかに、手触りが良くなるまで磨きます。ヤスリにも様々な種類があり、金属のものや紙のもの、目の細かさも様々なので使い分けながら作業をします。表面にイラストや模様を描くこともあります。ペンや絵の具、専用の道具で焼き色をつけたりもします。そして最後は

《次号予告》
CFコース

表面にニスを塗って仕上げます。製品のデザインによっては、ニスを塗らずに木の感触をそのまま残すこともあります。ニスと塗る場合は、斑にならないように何度も塗り重ねていきます。塗っては乾かしを繰り返します。最終のニスが乾けば完成です。

一つひとつの工程にとっても時間がかかります。危険な道具もたくさんあり、気を抜くとケガをしてしまうので集中して作業をしています。大変な作業ですが、やっぱり製品が完成すると嬉しいですね。



可愛いグッズたくさんあります。

縫製

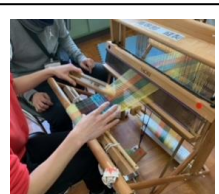
縫製の授業では、布・革・フェルト等を使用して製品を作っています。今年度作製した商品を紹介します。

布製品では、エコバックとループタオルを作りました。ミシンを使用して縫い合わせたり、手縫いで細かい部分を仕上げたりしました。ループタオルは引っ掛ける紐が付いているので便利です。エコバックも必需品となっている今、一つお買い求めいただければいかがでしょうか？

革製品では、名札入れと印鑑入れを作りました。革は硬いので慎重に作業をしないとダメです。下書きした通りにカッターで切り取り、目打ちで穴をあけて縫い合わせます。力がある作業も多いので大変です。



羊毛フェルトを使った製品では、専用の道具を使用してフェルトボールを作り、正月飾り・雛人形など、季節の飾りを作りました。一つひとつ表情が違い、とても可愛く仕上がりました。道具を使ってフェルトを丸める作業も楽しく行っています。毛糸等も使用して季節のリースも作製しました。また、「さをり織り」にも取り組んでいます。「さをり織り」とは、色や織り方、素材などに制約がなく、自由に織り上げる織り方です。長い反物に仕上げた後、鞆やコースターに加工します。



新商品が次々登場しますので、お楽しみに！